

《資料2》

# 第4回愛荘町庁舎等の あり方検討委員会資料

各施設ごとの具体の方針案

【第3回検討委員会振り返りを踏まえて修正。加筆修正箇所は赤字で表示】

令和2年5月26日(火)

# 各施設ごとの具体の方針案

## 行政機能の配置の最適化に向けた基本的な考え方

行政機能の配置の最適化に向けて、6つの基本的な考え方(原則)を次のとおり定める。  
この基本原則のもとに、各施設の具体の方針を定め、速やかに集約化等を進める。

住民の利便性の向上  
(ワンストップサービス)

多様化する行政需要に対応した  
サービスの提供  
(適切なサービス)

危機管理拠点としての機能  
(安全安心の確保)

効率的・効果的な行政運営  
(事務の効率化)

将来世代の負担軽減  
(持続可能な行財政運営)

民間事業者による代替  
(民間活力の導入)

## 各施設ごとの具体の方針案

本検討委員会において、これまで町長から諮問のあった下記の施設について、現状と課題を情報共有するとともに、個別施設計画を踏まえて、各施設の方向性に対するねらい(めざすところ)と対応策(求められること)を議論してきた。

6つの基本的な考え方(原則)を基に、各施設の具体の方針案について、次のとおり提案する。

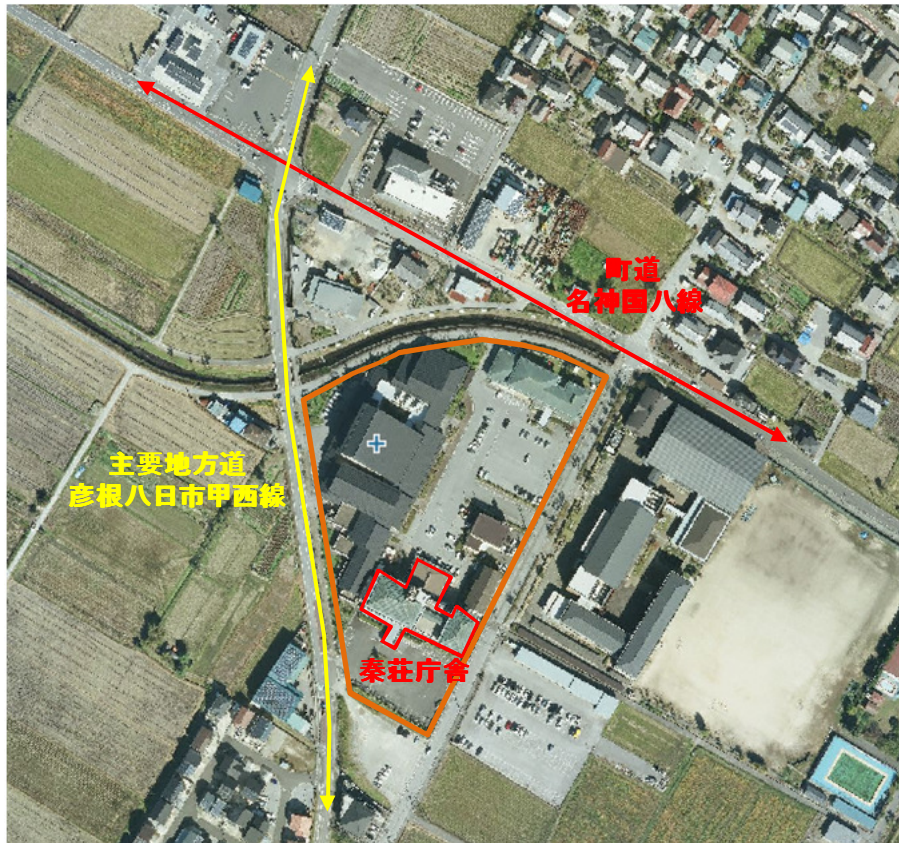
### 記

- ①行政系施設【秦荘庁舎・愛知川庁舎】
- ②保健・福祉系施設【ラポール秦荘(いきいきセンター)・福祉センター愛の郷】
- ③保健・福祉系施設【秦荘保健センター・愛知川保健センター】
- ④町民文化系施設【愛知川公民館・町民センター愛知川】
- ⑤その他施設【旧愛知川警部交番】

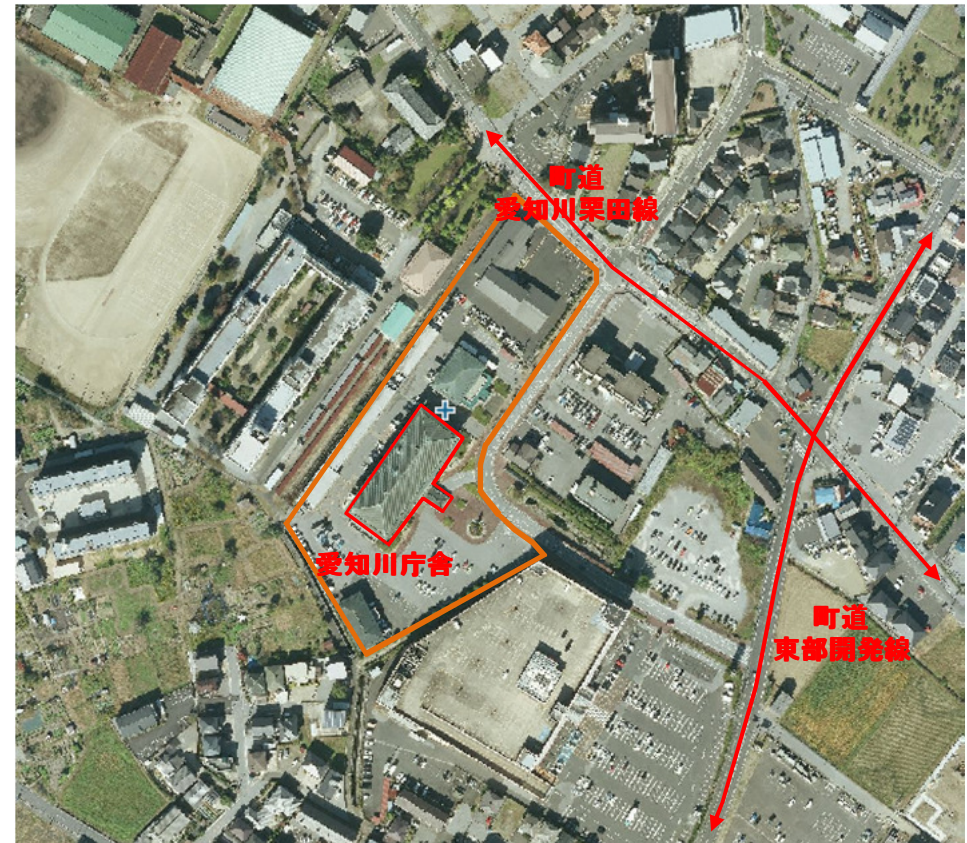
# 各施設ごとの具体の方針案

## ①行政系施設【秦荘庁舎・愛知川庁舎】

秦荘庁舎



愛知川庁舎



# 各施設ごとの具体の方針案

## ①行政系施設【秦荘庁舎・愛知川庁舎】

令和2年4月1日現在

項目	秦荘庁舎
敷地面積(m <sup>2</sup> )	19,057m <sup>2</sup> (ハーティーセンター秦荘・秦荘保健センター等含)
建築面積(m <sup>2</sup> )	1,113m <sup>2</sup>
延床面積(m <sup>2</sup> )	2,734m <sup>2</sup>
建築年月	昭和47年(1972年)12月建築 平成3年(1991年)12月増築
築年数	47年
構造	鉄筋コンクリート造
階層	3階
IS値(目標値)	0.6以上
耐震診断実施の年月	2004年10月
避難所/防災施設概要	無
施設来館者数(人)(月平均)	1,200人
施設に従事する職員数(人)	特別職正職員35人 + 会計年度任用職員12人 = 47人
課配置	秦荘サービス室、農林商工課、建設・下水道課、教育振興課、生涯学習課

項目	愛知川庁舎
敷地面積(m <sup>2</sup> )	13,390m <sup>2</sup> (愛知川保健センター等含)
建築面積(m <sup>2</sup> )	2,368m <sup>2</sup>
延床面積(m <sup>2</sup> )	3,791m <sup>2</sup>
建築年月	平成2年(1990年)10月建築
築年数	29年
構造	鉄筋コンクリート造
階層	3階
IS値(目標値)	0.75以上
耐震診断実施の年月	2018年2月
避難所/防災施設概要	災害対策本部設置
施設来館者数(人)(月平均)	6,500人
施設に従事する職員数(人)	特別職正職員95人 + 会計年度任用職員28人 = 123人
課配置	議会議務局、会計室、みらい創生課、まちづくり協働課、経営戦略課、人権政策課、くらし安全環境課、福祉課、健康推進課、子ども支援課、住民課、税務課

# 各施設ごとの具体の方針案

## ①行政系施設【秦荘庁舎・愛知川庁舎】

これまでの検討委員会の意見を踏まえながら、施設集約に向けた評価項目・評価基準を設定

評価項目	内容
都市機能の集積	他の官公署等との位置関係
	金融機関や商業施設等との位置関係
防災拠点としての安全性	防災拠点施設としての耐震性の確保
	防災ガイドブックにおける浸水想定
	大地震発生時の想定震度、断層位置
災害時の機能維持性	緊急輸送道路へのアクセス
	消防、警察との位置関係
施設の規模(面積)	総務省基準による庁舎必要面積に対する不足の差
将来世代への負担の軽減	庁舎建設費(増改築)
交通アクセス	公共交通機関によるアクセス性
	車両における道路面のアクセス性
駐車場の確保	駐車可能台数

評価	評価基準
A	当該評価項目において、十分に評価できる
B	当該評価項目において、評価できる
C	当該評価項目において一部に課題があるが、評価できる
D	当該評価項目において課題がある
E	当該評価項目において、課題が多い

# 各施設ごとの具体の方針案

## ①行政系施設【秦荘庁舎・愛知川庁舎】

### 評価項目に基づく評価内容および最終評価

#### 秦荘庁舎

評価項目	評価内容	最終評価
都市機能の集積	◆半径1km圏以内に官公署は無く、店舗や金融機関が立地している。	B
防災拠点としての安全性	◆災害対策本部を設置するためのIs値(目標値)の確保ができていない。 ◆ハザードマップにおける「内水はん濫」と「外水はん濫」を重ねた時の浸水深は0.5m未満である。 ◆最も甚大な被害を及ぼすことが想定される地震による想定震度は6強となる。直下に断層、活断層はない。	G →D
災害時の機能維持性	◆第二次輸送道路(主要地方道彦根八日市甲西線)に接している。また、第一次輸送道路(名神高速道路)まで約3.5km。 ◆東近江警察署まで約8.6km、東近江行政組合愛知消防署まで約3.5kmである。	B
施設の規模(面積)	◆総務省「起債許可標準面積算定基準」による庁舎必要面積に対する不足の差は、1586㎡で、隣接する秦荘保健センターを活用しても、942㎡の不足が生じる。	C
将来世代への負担の軽減	◆レイアウト変更に伴う改修や移転費用等が必要のほか、不足面積分の増改築に約3億7,600万円の建設費が見込まれる。 (※試算単価 400千円/㎡) ◆ <b>防災拠点施設としての耐震性を確保するための費用(耐震診断・耐震補強工事)が必要となる。</b>	D
交通アクセス	◆JR稲枝駅まで約6.4kmの位置にある。 ◆町道名神国八線から国道307号へ接続できる。	C
駐車場の確保	◆駐車場として255台分を確保。ただし、ハーティーセンター秦荘、秦荘図書館、子育て支援センターあいつ子、商工会、および職員駐車場を含む。 ◆東側駐車場(109台分)は年間賃借料約200万円が必要。	C
総合評価		C

#### 愛知川庁舎

評価項目	評価内容	最終評価
都市機能の集積	◆半径1km圏以内に官公署は無いが東近江警察署警部交番、東近江消防署出張所あるほか、金融機関、商業施設が集積している	B
防災拠点としての安全性	◆災害対策本部を設置するためのIs値(目標値)を確保している。 ◆ハザードマップにおける「内水はん濫」と「外水はん濫」を重ねた時の浸水深は0.5m未満である。 ◆最も甚大な被害を及ぼすことが想定される地震による想定震度は6強となる。直下に断層、活断層はない。	B
災害時の機能維持性	◆第二次輸送道路(町道愛知川栗田線)まで消防センターを挟んで隣接。 ◆第一次輸送道路(国道8号)まで約900mで接続性が高い。 ◆東近江警察署まで約7km。東近江警察署警部交番および、東近江行政組合愛知消防署(愛知川出張所)が隣接している。	B
施設の規模(面積)	◆総務省「起債許可標準面積算定基準」による庁舎必要面積に対する不足の差は、787㎡で、隣接する愛知川保健センターを活用すれば、概ね確保できる。	B
将来世代への負担の軽減	◆レイアウト変更に伴う改修や移転費用等が必要。	C
交通アクセス	◆近江鉄道愛知川駅まで約1km、JR能登川駅まで約6kmの位置にある。能登川駅まで路線バスがある。 ◆町道愛知川栗田線から国道8号へ接続できる。	B
駐車場の確保	◆駐車場として244台分を確保。ただし、商工会および職員駐車場を含む。	C
総合評価		B

# 各施設ごとの具体の方針案

## ①行政系施設【秦荘庁舎・愛知川庁舎】

### 具体の方針案

- ・住民の利便性の向上および事務の効率化等を実現するため、愛知川庁舎にすべての課を集約する。
- ・住民の利便性を確保するため、秦荘庁舎に支所機能を設ける。

### 方針の推進にあたって

- ・愛知川庁舎は、ワンストップサービスや多様化する行政需要に対応したサービスを提供できるように、事務スペースの整理を検討すると共に、必要なスペースを確保する。
- ・来庁者が容易に駐車できるように十分な駐車場スペースを確保する。
- ・来庁者が心地よく過ごせるスペースを確保する。
- ・秦荘庁舎は、支所機能に応じた適切な規模を確保すると共に、必要な改修等を行う。
- ・庁舎の維持管理費用や公用車の保有台数を縮減するなど、スリムな行政運営に取り組む。



# 各施設ごとの具体の方針案

## ②保健・福祉系施設【ラポール秦荘(いきいきセンター)・福祉センター愛の郷】

2つの福祉施設を比較評価するにあたり、類似する自治体の福祉施設の基本情報を整理。

市 町 名	愛荘町		日野町	竜王町	おいらせ町
施設名	いきいきセンター	愛の郷	勤労福祉会館	福祉ステーション	地域福祉センター (いきいき館)
施設管理担当	町社会福祉協議会		町社会福祉協議会	竜王町	町社会福祉協議会
施設数	2		1	1	1
延床面積	1,682㎡	1,703㎡	658㎡	120㎡	2355.25㎡
建築年月	H11.10	H6.3	S51.2	H12.4	H7.4
構造	RC構造	RC構造	RC構造 陸屋根作り	RC構造	RC構造
階層	1階	1階	2階	2階	1階
人口	20,877人		21,228人	11,888人	24,311人
高齢化率	22.6%		29.9%	27.6%	28.3%
町面積	37.97km <sup>2</sup>		117.6km <sup>2</sup>	44.52	71.96km <sup>2</sup>
自治会数	53		82	32	56
実施事業等	社協が指定管理者となり、デイサービス事業(要介護者)、障がい福祉サービス事業を実施。	社協が指定管理者となり、デイサービス事業(介護予防)を中心に、ボランティア事業、地域福祉活動等を実施。	勤労福祉会館を社協が指定管理者となり事務所として使用。それ以外に、町施設を利用してデイサービス事業、ヘルパー事業を実施。	1階フロアを行政、2階フロアを社協が事務所として使用。それ以外に、町内3施設で介護予防事業を実施。(3施設は社協が指定管理者)	社協が指定管理者となり、高齢者のデイサービス事業を中心に、世代間交流事業、ボランティア事業を実施。

※類似団体の選定

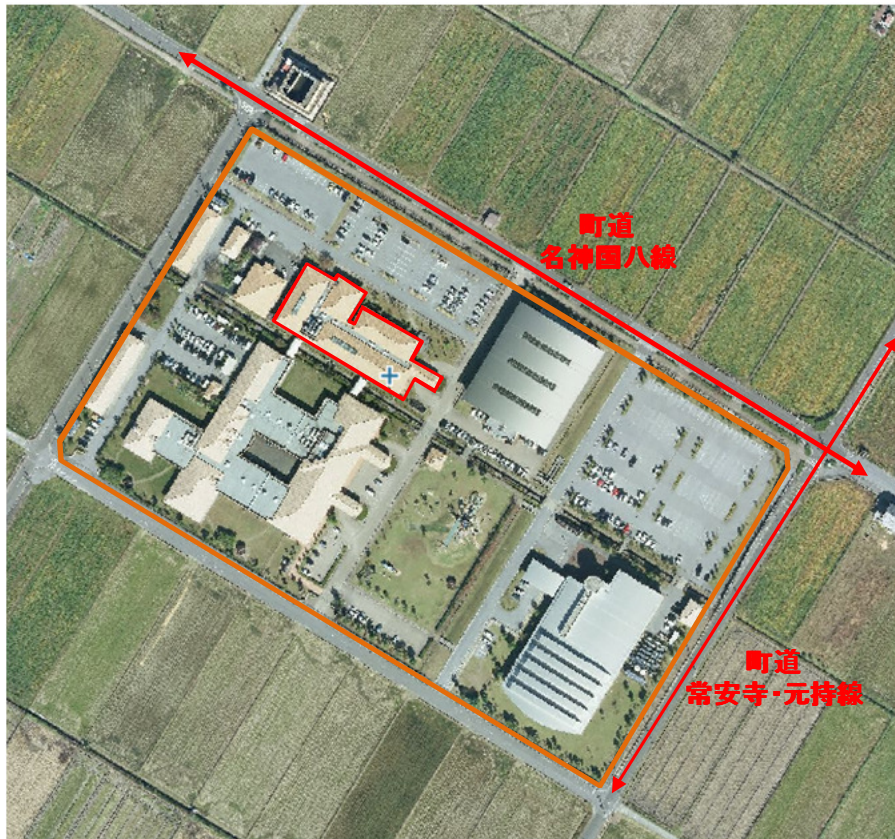
○県内の類似団体 → **日野町・竜王町**

○国が示す類似団体の内、2町合併で「町」となり、人口、高齢者比率に近い団体 → **青森県おいらせ町**

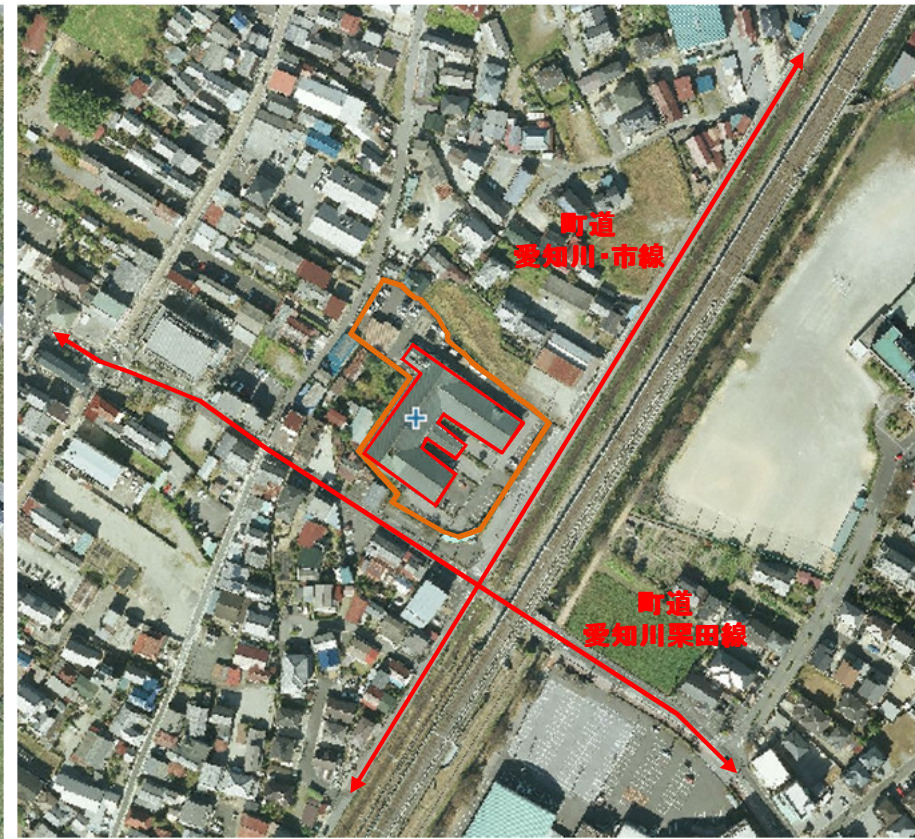
# 各施設ごとの具体の方針案

## ②保健・福祉系施設【ラポール秦荘(いきいきセンター)・福祉センター愛の郷】

ラポール秦荘  
いきいきセンター



福祉センター  
愛の郷



# 各施設ごとの具体の方針案

## ②保健・福祉系施設【ラポール秦荘(いきいきセンター)・福祉センター愛の郷】

これまでの検討委員会の意見を踏まえながら、施設集約に向けた評価項目・評価基準を設定

評価項目	内容
福祉施設等の集積	他の福祉施設等との位置関係
防災拠点としての安全性	防災拠点施設としての耐震性の確保
	防災ガイドブックにおける浸水想定
	大地震発生時の想定震度、断層位置
災害時の機能維持性	緊急輸送道路へのアクセス
	消防、警察との位置関係
将来世代への負担の軽減	施設の耐用年数、用地の確保、更新費用
交通アクセス	公共交通機関によるアクセス性
	車両における道路面のアクセス性
駐車場の確保	駐車可能台数

評価	評価基準
A	当該評価項目において、十分に評価できる
B	当該評価項目において、評価できる
C	当該評価項目において一部に課題があるが、評価できる
D	当該評価項目において課題がある
E	当該評価項目において、課題が多い

# 各施設ごとの具体の方針案

## ②保健・福祉系施設【ラポール秦荘(いきいきセンター)・福祉センター愛の郷】

### 評価項目に基づく評価内容および最終評価

#### ラポール秦荘 いきいきセンター

評価項目	評価内容	最終評価
福祉施設等の集積	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆敷地内に、要支援・要介護者の支援を行う「訪問看護ステーション」「特別養護老人ホーム」「秦荘ケアプラザセンター」がある。</li> <li>◆敷地内に、「けんこうプール」「はつらつドーム」「ふれあい広場」の健康増進施設がある。</li> </ul>	A
防災拠点としての安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新耐震基準を満たしている</li> <li>◆ハザードマップにおける「内水はん濫」と「外水はん濫」を重ねた時の浸水深は0.5m未満である。</li> <li>◆福祉避難所に指定</li> <li>◆最も甚大な被害を及ぼすことが想定される地震による想定震度は6強となる。直下に断層、活断層はない。</li> </ul>	B
災害時の機能維持性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆第一次輸送道路(名神高速道路)まで約2.8km</li> <li>◆第二次輸送道路(国道307号)まで約0.8km、(主要地方道彦根八日市甲西線)まで2.5kmで接続性が高い。</li> <li>◆東近江警察署まで約9.4km、東近江行政組合愛知消防署まで約3.0kmである。</li> </ul>	C →B
将来世代への負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆RC構造の耐用年数を60年とした場合、建替えが必要となるのは2059年(令和41年)</li> <li>◆事業継続しつつの建て替えが可能。十分な用地の確保がある。</li> <li>◆同規模の建物を建替えた場合、約6億7,280万円の建築費が見込まれる。また、大規模改修では、約4億2,050万円の見込みとなる。(※試算単価 建築:400千円/㎡ 大規模改修:250千円/㎡)</li> </ul>	B
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆JR稲枝駅まで約6.9kmの位置にある。</li> <li>◆町道名神国八線から国道307号へ接続できる。</li> </ul>	C
駐車場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆駐車場として108台分を確保。ただし、はつらつドームおよび職員駐車場を含む。</li> </ul>	B
総合評価		B

#### 福祉センター 愛の郷

評価項目	評価内容	最終評価
福祉施設等の集積	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆愛荘町立ふれあい共同作業所が隣接している。</li> </ul>	C
防災拠点としての安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新耐震基準を満たしている</li> <li>◆ハザードマップにおける「内水はん濫」と「外水はん濫」を重ねた時の浸水深は1.0m未満である。</li> <li>◆福祉避難所に指定</li> <li>◆最も甚大な被害を及ぼすことが想定される地震による想定震度は6強となる。直下に断層、活断層はない。</li> </ul>	C
災害時の機能維持性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆第二次輸送道路(町道愛知川栗田線)沿いで、第一次輸送道路(国道8号)まで第二次輸送道路を経由して約450mで接続性が高い。</li> <li>◆東近江警察署まで約7.5km、東近江行政組合愛知消防署まで約6.8kmである。</li> </ul>	B
将来世代への負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆RC構造の耐用年数を60年とした場合、建替えが必要となるのは2054年(令和36年)</li> <li>◆事業継続しつつの建て替えは困難。新たな用地の確保は困難。</li> <li>◆同規模の建物を建替えた場合、約6億8,120万円の建築費が見込まれる。また、大規模改修では、約4億2,575万円の見込みとなる。(※試算単価 建築:400千円/㎡ 大規模改修:250千円/㎡)</li> </ul>	C
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆近江鉄道愛知川駅まで約450m、JR能登川駅まで約5.5kmの位置にある。能登川駅まで路線バスがある。</li> <li>◆町道愛知川栗田線から国道8号へ接続できる。</li> </ul>	B
駐車場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆駐車場として52台分を確保。ただし、職員駐車場を含む。</li> </ul>	C
総合評価		C

## 各施設ごとの具体の方針案

### ②保健・福祉系施設【ラポール秦荘(いきいきセンター)・福祉センター愛の郷】

#### 具体の方針案

- ・利用者ニーズを把握し、適切なサービスを提供していくため、総合福祉センター愛の郷をラポール秦荘いきいきセンターへ集約する。

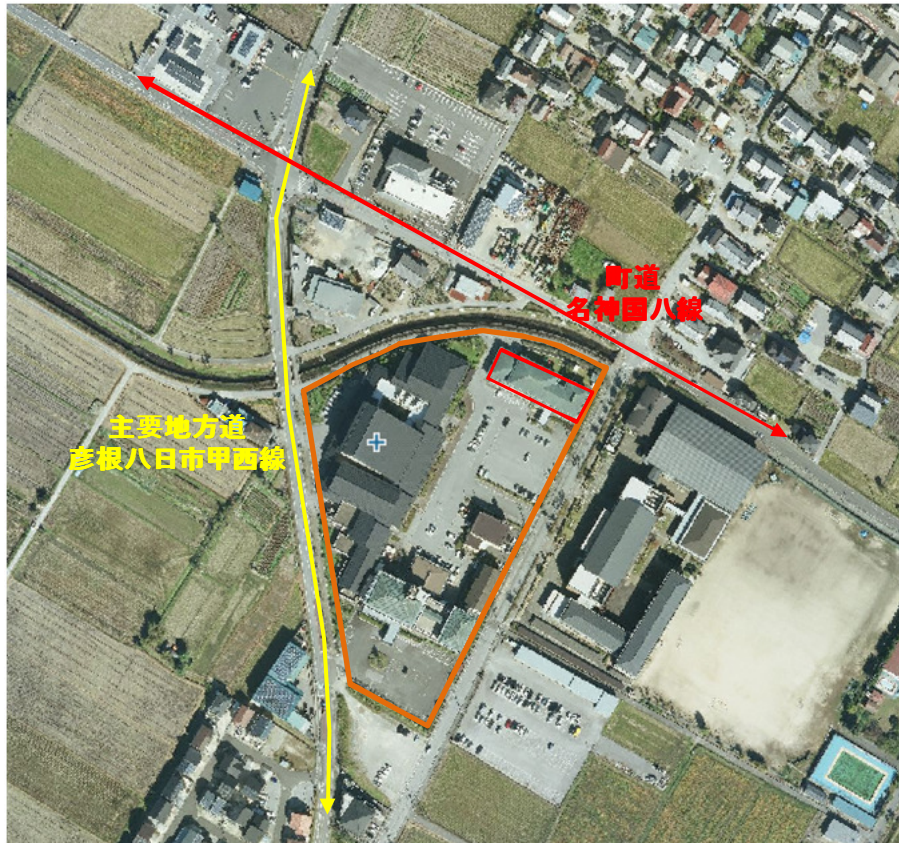
#### 方針の推進にあたって

- ・多様化する行政需要に対応するため、利用者ニーズを把握し、サービス内容の見直しを行う。
- ・民間活力の導入(民間事業者による代替)を含めた将来的なサービス内容や提供のあり方を検討する。
- ・効率的・効果的な組織体制のスリム化の検討に取り組む。
- ・適切な施設管理および費用削減を行い、利用者に快適な空間を提供する。

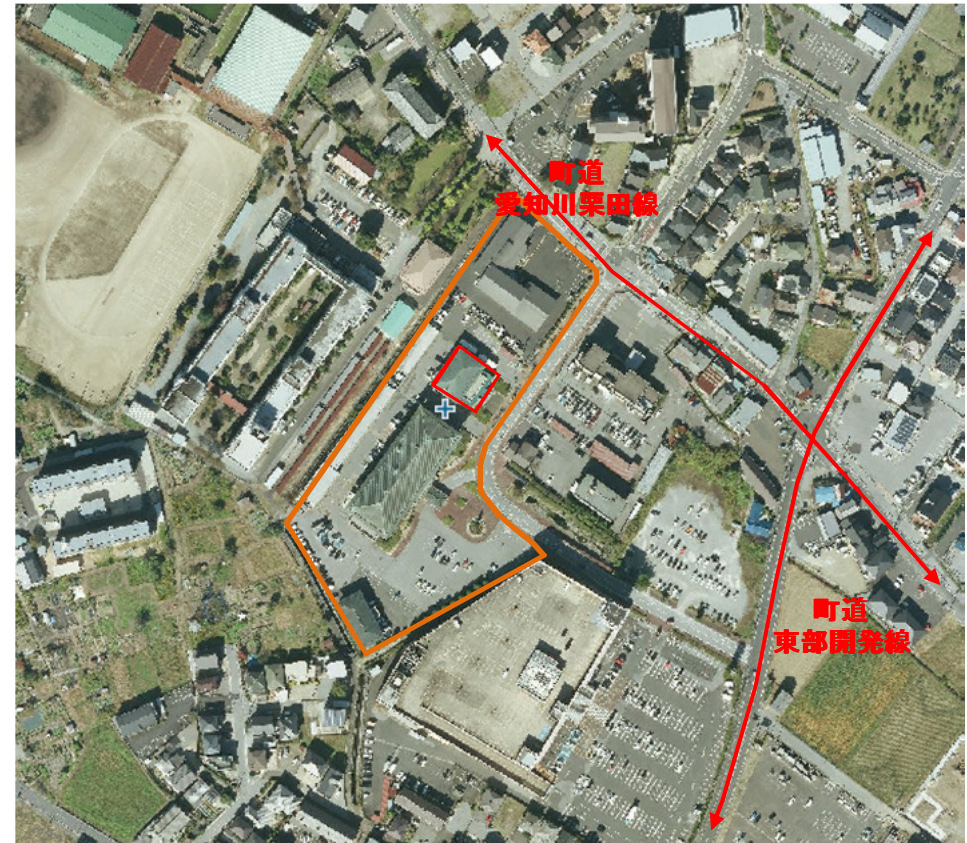
# 各施設ごとの具体の方針案

## ③保健・福祉系施設【秦荘保健センター・愛知川保健センター】

秦荘保健センター



愛知川保健センター



# 各施設ごとの具体の方針案

## ③保健・福祉系施設【秦荘保健センター・愛知川保健センター】

項目	秦荘保健センター	項目	愛知川保健センター
敷地面積(m <sup>2</sup> )	19,057m <sup>2</sup> (秦荘庁舎・ハーティーセンター秦荘等含)	敷地面積(m <sup>2</sup> )	13,390m <sup>2</sup> (愛知川庁舎等含)
延床面積(m <sup>2</sup> )	644m <sup>2</sup>	延床面積(m <sup>2</sup> )	656m <sup>2</sup>
建築年月	平成元年(1989年)3月建築	建築年月	昭和62年(1987年)3月建築
築年数	31年	築年数	33年
構造	鉄筋コンクリート造	構造	鉄筋コンクリート造
階層	2階	階層	2階
IS値(目標値)	対象外	IS値(目標値)	対象外
耐震診断実施の年月	—	耐震診断実施の年月	—
避難所/防災施設概要	無	避難所/防災施設概要	指定避難所・指定緊急避難所
施設来館者数(人)(月平均)	250人	施設来館者数(人)(月平均)	700人
施設に従事する職員数(人)	なし	施設に従事する職員数(人)	なし

## 各施設ごとの具体の方針案

### ③保健・福祉系施設【秦荘保健センター・愛知川保健センター】

#### 具体の方針案

- ・住民に分かりやすくするため、秦荘・愛知川保健センターの名称は廃止し、健康推進課を(仮称)愛荘町保健センターとして配置する。
- ・秦荘保健センターは、健診のほか会議や各種事業会場として広く活用する。愛知川保健センターは庁舎として有効活用する。

#### 方針の推進にあたって

- ・健康推進課と隣接する場所に健診にも利用できる会議・相談スペースを確保する。
- ・プライバシー保護や安全面の向上のため、相談・診察室などの必要なスペース機能を確保する。
- ・保健センター事業以外に活用できていなかった会場を役場で共有して有効利用する。
- ・各種事業を実施する際には、住民の利便性を考えた会場を設定する。
- ・引き続き関係部署の連携により、適切な相談や支援を受けられるようにする。



# 各施設ごとの具体の方針案

## ④町民文化系施設【愛知川公民館・町民センター愛知川】

### 愛知川公民館

平成30年度

部屋名 (収容人数)	利用件数	利用人数	稼働率
大ホール (354)	54件	5,133人	6.0%
和室 (60)	265件	1,833人	29.4%
ふれあい室 (30)	276件	2,533人	30.7%
IT室 (16)	60件	337人	6.7%
会議室 (42)	330件	2,559人	36.7%

令和元年度

部屋名 (収容人数)	利用件数	利用人数	稼働率
大ホール (354)	56件	4,619人	6.2%
和室 (60)	237件	1,589人	26.3%
ふれあい室 (30)	238件	2,169人	26.4%
IT室 (16)	55件	247人	6.1%
会議室 (42)	290件	3,375人	32.2%

※稼働率・・・年間開館日数300日として、各部屋1日の利用回数3回(午前・午後・夜)と仮定した時の比率として試算(件数/900)

### 町民センター愛知川

平成30年度

部屋名 (収容人数)	利用件数	利用人数	稼働率
研修室A・研修室B (80)	215件	3,824人	23.9%
会議室 (20)	342件	1,714人	38.0%
調理室 (40)	23件	266人	2.6%

令和元年度

部屋名 (収容人数)	利用件数	利用人数	稼働率
研修室A・研修室B (80)	250件	3,814人	27.8%
会議室 (20)	314件	1,860人	34.9%
調理室 (40)	16件	153人	1.8%

※稼働率・・・年間開館日数300日として、各部屋1日の利用回数3回(午前・午後・夜)と仮定した時の比率として試算(件数/900)

# 各施設ごとの具体の方針案

## ④町民文化系施設【愛知川公民館・町民センター愛知川】

### ハーティーセンター秦荘

平成30年度

部屋名 (収容人数)	利用件数	利用人数	稼働率
大ホール (425)	168件	12,506人	18.7%
中ホール (150)	241件	7,172人	26.8%
楽屋 (12)	102件	554人	11.3%
大広間 (54)	225件	2,541人	25.0%
第2サークル室 (10)	60件	190人	6.7%
第3サークル室 (50)	99件	1,594人	11.0%
第4サークル室 (24)	94件	1,047人	10.4%
第5サークル室 (20)	192件	2,497人	21.3%
第6サークル室 (8)	79件	296人	8.8%
第7サークル室 (28)	155件	1,253人	17.2%
研修室 (20)	150件	1,103人	16.7%
応接室 (6)	29件	43人	3.2%
調理実習室 (20)	81件	552人	9.0%
和室 (12)	91件	608人	10.1%
談話室 (10)	23件	117人	2.6%

令和元年度

部屋名 (収容人数)	利用件数	利用人数	稼働率
大ホール (425)	134件	9,994人	14.9%
中ホール (150)	218件	5,676人	24.2%
楽屋 (12)	80件	445人	8.9%
大広間 (54)	217件	2,341人	24.1%
第2サークル室 (10)	23件	116人	2.6%
第3サークル室 (50)	136件	1,955人	15.1%
第4サークル室 (24)	98件	1,156人	10.9%
第5サークル室 (20)	196件	2,192人	21.8%
第6サークル室 (8)	76件	269人	8.4%
第7サークル室 (28)	157件	1,087人	17.4%
研修室 (20)	192件	1,320人	21.3%
応接室 (6)	30件	65人	3.3%
調理実習室 (20)	66件	453人	7.3%
和室 (12)	90件	579人	10.0%
談話室 (10)	23件	46人	2.6%

※稼働率・・・年間開館日数300日として、各部屋1日の利用回数3回(午前・午後・夜)と仮定した時の比率として試算(件数/900)

# 各施設ごとの具体の方針案

## ④町民文化系施設【愛知川公民館・町民センター愛知川】

過去2年間の稼働実績等から、愛知川公民館・町民センター愛知川の機能を、ハーティーセンター秦荘に集約することが可能かを検討

※各部屋の実績は、過去2年間の稼働率の高い方を利用

### 愛知川公民館

部屋名 (収容人数)	稼働率
大ホール (354)	6.2%
和室 (60)	29.4%
ふれあい室 (30)	30.7%
IT室 (16)	6.7%
会議室 (42)	36.7%

### ハーティーセンター秦荘

部屋名 (収容人数)	稼働率	稼働率
大ホール (425)	18.7%	24.9%
大広間 (54)	25.0%	54.4%
第7サークル室 (28)	17.4%	48.1%
研修室 (20)	21.3%	28.0%
第3サークル室 (50)	15.1%	51.8%

### 町民センター愛知川

部屋名 (収容人数)	稼働率
研修室A・研修室B (80)	27.8%
会議室 (20)	38.0%
調理室 (40)	2.6%

部屋名 (収容人数)	稼働率	稼働率
中ホール (150)	26.8%	54.6%
第4サークル室 (24)	10.9%	48.9%
調理実習室 (20)	9.0%	11.6%

# 各施設ごとの具体の方針案

## ④町民文化系施設【愛知川公民館・町民センター愛知川】

### 具体の方針案

- ・社会教育施設としての**公民館機能を引き続き基礎自治体として維持することが重要であり、相応しい施設規模・状態である**ハーティーセンター秦荘を中心に展開する。
- ・愛知川公民館および町民センター愛知川を解体。

### 方針の推進にあたって

- ・社会の変化や住民ニーズに対応した社会教育講座等を企画実施する。
- ・社会教育の実施にあっては、関係課・関係団体と連携して充実させていく。

## 各施設ごとの具体の方針案

### ⑤その他施設【旧愛知川警部交番】

- ・跡地利用が定まっていないため解体をせず現状有姿のまま倉庫として活用しているが、老朽化の進行により景観を損ね、防犯面でも住民に不安を与える施設となっている。
- ・各種会議や健診事業等、多くの方(住民)が、一同に来庁された時の駐車場不足に苦情の声がある。
- ・庁舎集約により職員(自家用車)および公用車が増え、来庁者用駐車場の確保が必要。

#### 具体の方針案

- ・旧愛知川警部交番を解体。

#### 方針の推進にあたって

- ・来庁者の利便性を向上するため、駐車場として整備し、速やかに有効活用する。